



富岡市丹生保育園
〒370-2461
富岡市上丹生 3
電話：67-3406
園長 今井和久

2025 丹生保育園だより

秋晴れの中、子どもたちは毎日運動会の練習に一所懸命に取り組んでいます。当日は、13 名の子どもたち全員が練習の成果をすべて発揮し、一人一人が身体いっぱい自分らしく表現・演技してくれると思います。

保護者の皆様、楽しみにしててください。

過ごしやすいこの季節、いろいろな行事・活動に組みたいと思っています。それには、健康管理・体調管理が大事！「早起き・早寝・朝ご飯・朝うんち」「手洗い・うがい」を励行して、毎日、元気に登園しましょう。



10月(神無月)の予定

○神無月(かんなつき)→10 月には神様が島根県の出雲大社に集い、他の神社の神様がすべていなくなることから、「神無月」になったと言われています。

日	曜	内 容
1	水	後期保護者会費集金
2	木	リトミック①
7	火	運動会リハーサル
11	土	運動会
15	水	クラス便り
16	木	稲刈り
20	月	リトミック②
22	水	坐禅(年長児)
23	木	さつまいも掘り
24	金	保護者と職員の懇親会(19 時ニイハオ)
28	火	群馬県民の日
29	水	フランス文化交流会②(4, 5 歳児)
30	木	誕生日会
31	金	避難訓練

★就学時健診；20 日(月)妙義小、27 日(月)さくら小

*10 月に入ると肌寒い日もありますので、昼寝用毛布を持たせてください。すみれ・たんぽぽ組は 10 日(金)で、お昼寝は終了です。

運動会 Final

10 月 11 日(土) 9 時 15 分 雨天決行

参観者の制限はありません。

*朝は、**8 時 45 分までに登園**してください。(園バス運行なし)

*服装は体育着・白い靴下。持ち物；水筒

*駐車場は、JA ガスセンター駐車場、前丹生小の駐車場。

*雨天の場合は、前丹生小の体育館で実施します。

緊急メール(オクレンジャー)でお知らせします。

気になる子どもの子育て

～褒めて育てるで大丈夫?～

幼児期で重要なのは、「教えて褒める!」

幼児期までの子育ては「教えて、褒める」

がメインとなります。この時期は、食事や排泄、入浴、着替え、清潔にするなど、日常生活の様々なことを身に付ける時期です。また、友達や周囲の人との付き合い方、あいさつや感謝の伝え方を身に付ける時期でもあります。覚えなければならないたくさんのことを、保護者は一つ一つ、教えていかなければなりません。教え方には 3 つのポイントがあります。

① 大人がまずやってみせる。

例えばいきなり、「歯みがきをしなさい」といっても幼児にはそれが何のことか分かりません。子どもと目線を合わせて、一緒にやってみましょう。

② 手添えして一緒に

子どもに歯ブラシを持たせ、大人は手添えをして、分かりやすく説明しながら、一緒にやってみましょう。

③ 一人でやらせて、できたら褒める

初めは、うまくいかないのが当たり前と考え、少しでもできたら褒めてあげましょう。「できたね」「すごいね」と言う褒め言葉は子どもに自信を与えます。「褒めてばかりだと、打たれ弱い性格になるのでは…」なんて心配は無用です。

逆に、物事を身に付ける過程で、「なんでできないの」と大人が怒ってしまうと、子どもは気持ちがイライラしますし、途中でおぼえるのを諦めてしまいます。

幼児期は、「教えて褒めて育てる」を心がけましょう!

石川京子氏の『気になる子どもの子育て VOL37』より抜粋



子どもの発育には、外遊びが重要!

10 月 13 日は「スポーツの日」

子どもの健全な発育(育ち)には、外遊びや運動が重要です。ところが、文部科学省の調査によると、子供の体力・運動能力は昭和 60 年ころをピークに低下してきているそうです。今の子どもたちは、身長・体重などの体格は親の世代を上回っているのに、体力・運動能力の面では親の世代を下回っています。その最大の原因は、保護者などの意識の中で、ケガなどが心配で、外遊びの重要性が軽視されがちになり、積極的に身体を動かす機会が減ったことにあると考えられます。昭和 30 年頃には 2~3 時間もあった小学生の外遊び時間は減り続けており、平成 20 年に民間機関が行った調査では、小学 5 年生で一日平均外遊びが 14 分間しかという結果も出ています。また、文部科学省の調査によると、幼児期に外遊びをよくした児童は、日常的に運動し体力も高いことが分かっています。子供たちの健全な育ちのために、もっともっと外遊びをさせましょう。園でも、積極的に外遊びや散歩を取り入れて、お子さんの体力向上を図っていきたいと思います。ご家庭でも、“スポーツの秋”お子さんと一緒に外遊びや運動をして健康づくりをお願いします。

また、10 月 10 日は「目の愛護デー」です。現代は、テレビゲームやスマホなどを使用する事で、大人も子どもも近いところを長時間見続ける生活をしています。使用時間を短くする、意識して遠くを見るなど、目の健康とメディアとの関わりを考えてみましょう。目の健康は身体のいろいろなところにも影響します。目を大切にしましょう。



目の愛護デー

